

シラバス（授業計画）

課目名	スタイリスト専攻					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	-	後期	45時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	90時間	
	2年	前期	45時間	後期	-			
担当講師	金川 盛一、佐藤 祐子、水野 雅城、関谷 葵、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	美容師実務経験16年をベースにTONI&GUY認定講師としての知識、技術を伝えることで、より美容現場のニーズに沿った細やかな指導をすることができる					
授業概要	1年後期 ワンレングスカット、グラデーションカット、ヘアカラーリング、パーマ 2年前期 ワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤーカット、デザインカット					授業形式	実技	
到達目標	TONI&GUY ベーシックカット試験の合格							
教科書 教材	TONI&GUY BASIC（カットの基礎） 髪書房							
授業計画 コマ数	1年 後期 授業内容							
1-3	コースカンファレンス、道具や技法の名称、カット姿勢の5つの型、セクション、シェーピング、ブロッキング							
4-6	ワンレングスカット① 手順と注意点のレクチャー							
7-9	ワンレングスカット② 手順と注意点のレクチャー							
10-12	ワンレングスカット③ 30分以内で完成							
13-15	ワンレングスカット④ 25分以内で完成							
16-18	ワンレングスカット⑤ チェックテスト							
19-21	グラデーションカット① 手順と注意点のレクチャー							
22-24	グラデーションカット② 手順と注意点のレクチャー							
25-27	グラデーションカット③ 30分以内で完成							
28-30	グラデーションカット④ 25分以内で完成							
31-33	グラデーションカット⑤ チェックテスト							
34-36	ヘアカラーリング① ウィービングカラー							
37-39	ヘアカラーリング② ハイライトオンカラー							
40-42	パーマデザイン① スパイラル、ツイストスパイラル、ピンパーマ							
43-45	パーソナルライジングによるオリジナル作品の制作							
成績評価 方法	・出席率					定期試験	筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	スタイリスト専攻					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	-	後期	45時間	授業時間数合計	90時間	
	2年	前期	45時間	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	金川 盛一、佐藤 祐子、水野 雅城、関谷 葵、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	美容師実務経験16年をベースにTONI&GUY認定講師としての知識、技術を伝えることで、より美容現場のニーズに沿った細やかな指導をすることができる					
授業概要	1年後期 ワンレングスカット、グラデーションカット、ヘアカラーリング、パーマ 2年前期 ワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤーカット、デザインカット					授業形式	実技	
到達目標	TONI&GUY ベーシックカット試験の合格							
教科書 教材	TONI&GUY BASIC（カットの基礎） 髪書房							
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容							
46-48	レイヤーカット① 手順と注意点のレクチャー							
49-51	レイヤーカット② 手順と注意点のレクチャー							
52-54	レイヤーカット③ 30分以内で完成							
55-57	ワンレングスカット～グラデーションカット							
58-60	レイヤーカット2回							
61-63	ワンレングスカット～グラデーションカット～レイヤーカット 各25分で完成							
64-66	ワンレングスカット～グラデーションカット～レイヤーカット 各25分で完成							
67-69	ワンレングスカット～グラデーションカット～レイヤーカット 各25分で完成							
70-72	プレプレテスト（ワンレングスカット～グラデーションカット～レイヤーカット）							
73-75	プレテスト（ワンレングスカット～グラデーションカット）							
76-78	ベーシック検定							
79-81	パーソナルライジング セニングシザーズ							
82-84	パーソナルライジング レザー							
85-87	パーソナルライジング スライジング、スライドカット、チョップカット							
88-90	パーソナルライジング アンダーカット							
成績評価 方法	・出席率					定期試験	筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ヘアメイク専攻（まつ毛エクステンション、洋装ブライダル）					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	-	後期	45時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	90時間	
	2年	前期	45時間	後期	-			
担当講師	菅谷 紀子、外部派遣講師		エステ、まつ毛エクステンションサロンにて10年、アカデミー講師として7年以上講師として携わる。サロンスタッフの教育、検定試験対応、現在もエステ、マツエク、脱毛・痩身マシン等の指導を行なっているため、より専門的な指導ができる。					
	実務経験	有						
授業概要	まつ毛エクステンション 身だしなみに気をつけながら道具の取り扱い・衛生管理を心がける、使用用具の使い方、安心・安全な基礎知識・基礎技術の習得、まつ毛・皮膚・眼の構造を理解してお客様を美しくする技術を身につける 洋装ブライダル 婚礼美容・ヘアメイク・新婦のアテンドなどの接客業務を学ぶ					授業形式	実習	
到達目標	まつ毛エクステンション美容技能資格認定試験3級の取得を目指す 洋装ブライダルのヘアメイクとしての知識・技術を身につける							
教科書 教材	①まつ毛エクステンション（日本理容美容教育センター）、オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 後期 授業内容							
1 - 3	教材の確認・次回ワゴン準備物等説明、理論（序章・第1章）、ウィッグかき分け、シートにJ0.1/12mm装着、片付けの説明							
4 - 6	理論（第1章、第5章）、ウィッグのかき分け、装着（1段目）							
7 - 9	理論（第2章、第3章）、ウィッグのかき分け・装着（2段目）							
10 - 12	材料（施術補助テープ）、ウィッグにテーピング・クレンジング、ウィッグのかき分け・装着（3段目）							
13 - 15	用剤（リムーバー）、ウィッグ3段目のリムービング（部分・全体）、ウィッグのかき分け・装着（4段目）							
16 - 18	ウィッグにテーピング・クレンジング、ウィッグ3段目のリムービング（部分・全体）、ウィッグのかき分け・装着（4段目）							
19 - 21	理論（第4章）、ウィッグ3段目のリムービング（部分・全体）、ウィッグにテーピング・クレンジング							
22 - 24	検定対策 実技（ワゴン準備・テーピング・リムービング・装着）・筆記							
25 - 27	検定対策 実技（ワゴン準備・テーピング・リムービング・装着）・筆記							
28 - 30	検定対策 実技（ワゴン準備・テーピング・リムービング・装着）・筆記							
31 - 33	検定対策 実技（ワゴン準備・テーピング・リムービング・装着）・筆記							
34 - 36	検定準備（ウィッグ装着・道具確認）、まつ毛エクステンション美容技能資格認定試験3級受験							
37 - 39	ブライダル・婚礼美容の接客業務、結婚式の1日の流れ、ウェディングファッション・ドレス・ベール・グローブの種類							
40 - 42	ブライダルインナー・ドレスのフィッティング（相モデル）、洋装の新郎新婦のお仕度、写真撮影時のポーズ、注意点							
43 - 45	ブライダルヘアメイク・新婦の小物（ティアラ・ベールなど）の種類と付け方、新婦のアテンド・グローブの付け外し							
成績評価 方法	・出席率		定期試験		筆記試験			
	・定期試験や小テスト			○	実技試験			
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない			
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ヘアメイク専攻（メイクアップ）					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	-	後期	45時間	授業時間数合計	90時間	
	2年	前期	45時間	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	羽鳥 美保		百貨店にてビューティアドバイザー - 17年、メイク講師として10年以上教育に携わる。美容部員の育成・メイクやエステの資格取得へ向けた指導を行う。渋谷ファッションCOLLECTION・ミセスジャパン・ブラダル・スクール撮影などメイクアップアーティストとして活動しているため、専門的な指導ができる。					
	実務経験	有						
授業概要	道具の使い方、衛生的取り扱い方、基礎技術の習得、接客マナーや礼儀作法を身につける、メイクアップ基礎理論を十分に理解する、クレンジング・スキンケア・ベースメイクアップ・フルメイクの手順と技術を身につける、メイクアップ基礎技術をサロンで提供できるよう習得する					授業形式	実習	
到達目標	日本メイクアップ技術検定1級の取得を目指す							
教科書 教材	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト（一般社団法人JMA）、オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容							
46 - 48	JMA3級 検定対策（セッティング、クレンジング～ベースメイクの復習・確認）							
49 - 51	JMA3級 検定対策（セッティング7分、クレンジング～ベースメイク 25分）、試験概要・注意事項の確認							
52 - 54	JMA3級 模擬試験（クレンジング～ベースメイク 30分）							
55 - 57	JMA 日本メイクアップ技術検定3級受験							
58 - 60	試験の振り返り、JMA2級 スキンケア～ファンデーションブラシでベース作り、赤リップメイク							
61 - 63	JMA2級 リキッドアイライン、アイメイク、ビューラー、マスカラ、ポイントクレンジング							
64 - 66	JMA2級 アイブロウメイク、ポイントメイクの復習							
67 - 69	JMA2級 試験概要、スキンケア復習、ベースメイク艶肌、ファンデーションブラシテクニック							
70 - 72	JMA2級 前回の復習、練りチーク、パウダーブラシテクニック							
73 - 75	JMA2級 アイメイク（アイシャドウ縦グラデーション、リキッドアイライン切れ長、ビューラー、マスカラ）、アイブロウ							
76 - 78	JMA2級 検定対策（クレンジング～フルメイク実習）							
79 - 81	JMA2級 検定対策（クレンジング～フルメイク実習）							
82 - 84	JMA2級 検定対策（クレンジング～フルメイク実習）							
85 - 87	JMA2級 模擬試験（クレンジング～フルメイク）							
88 - 90	JMA 日本メイクアップ技術検定2級受験							
成績評価 方法	・出席率		定期試験			筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○		実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない		
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	サロンワーク					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	90時間	後期	45時間	授業時間数合計	180時間	
	2年	前期	45時間	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	金川 盛一、佐藤 祐子、水野 雅城、関谷 葵、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	美容師実務経験16年の経験をもとに美容師のアシスタントとして求められる基礎的な技術と知識や接客・接遇のポイントを現場のニーズに沿って指導することができる					
授業概要	1年前期 バックシャンプー、ヘッドスパ、ブロードライ、接客（受付、誘導、会計） 1年後期 ベーシックカット、ブロースタイリング、ヘアカラー、サイドシャンプー 2年前期 デザインカット、ブロースタイリング、デザインカラー、フォトコンテスト ウィッグ作成					授業形式	実技	
到達目標	在学時から現場のアシスタント1年目、2年目としての意識、技術を身につけさせて卒業し就職したときにはアシスタント3年目として即戦力となる能力を目指す。							
教科書 教材	オリジナルプリント・OCAPPA技術まるごとレッスン帳（参考資料）・HIGUCHI式ヘッドスパ（参考資料）							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1 - 5	授業目的・目標の提示、ワゴンセッティング、すすぎの手順、注意点を指導、ウィッグを使って相モデルですすぎ							
6 - 10	2年生と合同授業（1年生がモデルとなり2年生のシャンプーを体験）							
11 - 20	すすぎからシャンプー、ドライイングまでの通し（30分以内）シャワーヘッドの持ち方(角度) に注意させる							
21 - 30	タオルドライまで20分以内、チェック項目を提示してお声がけ、手順、手の動きなどを意識させて時間内に完了							
31 - 40	シャンプー チェック(20分)							
41 - 50	バックシャンプー(20分) 接客面での注意事項をレクチャーし、フィードバックシートにてモデルから評価							
51 - 60	バックシャンプー(20分) 接客面での注意事項をレクチャーし、フィードバックシートにてモデルから評価							
61 - 70	1年生がモデルとなり2年生のシャンプーを体験・シャンプーからドライイング&スタイリングまで（20分+40分）							
71 - 80	実技試験 バックシャンプー（シャンプー20分、ドライイング&スタイリング40分）							
81 - 90	シャンプー後にヘッドスパ 体重のかけ方、リズムに注意しながらリラクゼーションとしての施術を意識させる							
91 - 94	ヘッドスパの目的、効果、効能について・相モデルでの実践							
95 - 99	ベーシックカット（ワンレングス）①・ベーシックカット（グラデーション）①							
100 - 103	ベーシックカット（グラデーション）②・相モデルによるヘッドスパの実践・ショルダーマッサージのレクチャー							
104 - 107	ブロードライとスタイリングの実践・ヘアカラー（白髪染めのリタッチテクニック）							
108 - 111	ヘアカラー（おしゃれ染めリタッチテクニック）・バックシャンプー、ブロースタイリング							
112 - 116	接客を交え、相モデルでのバックシャンプーの実践・ハイトーンカラー、ヘアカラーテクニックのレクチャー							
117 - 121	サイドシャンプー・相モデルによるサイドシャンプーの実践							
122 - 126	ベーシックカット(レイヤー) ・ブリーチ剤を使用しての脱色							
127 - 131	6トーンのヘアカラー剤を使用してのツータッチカラーの実践・応用カット（スクエアレイヤー、グラデーションボブ）							
132 - 135	自由創作・実技試験							
成績評価 方法	・出席率		定期試験			筆記試験		
	・チェックテストや実技試験			○		実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない		
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	サロンワーク					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	90時間	後期	45時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	180時間	
	2年	前期	45時間	後期	-			
担当講師	金川 盛一、佐藤 祐子、水野 雅城、関谷 葵、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	美容師実務経験16年の経験をもとに美容師のアシスタントとして求められる基礎的な技術と知識や接客・接遇のポイントを現場のニーズに沿って指導することができる					
授業概要	1年前期 バックシャンプー、ヘッドスパ、ブロードライ、接客（受付、誘導、会計） 1年後期 ベーシックカット、ブロースタイリング、ヘアカラー、サイドシャンプー 2年前期 デザインカット、ブロースタイリング、デザインカラー、フォトコンテスト ウィッグ作成					授業形式	実技	
到達目標	在学時から現場のアシスタント1年目、2年目としての意識、技術を身につけさせて卒業し就職したときにはアシスタント3年目として即戦力となる能力を目指す。							
教科書 教材	オリジナルプリント・OCAPPA技術まるごとレッスン帳（参考資料）・HIGUCHI式ヘッドスパ（参考資料）							
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容							
136-138	1・2年交流授業として、1年生にシャンプーとヘッドスパを実施するためのトレーニング							
139-141	サイドレイヤーカット&ブロースタイリング							
142-144	スクエアレイヤーカット&ブロースタイリング							
145-147	ウィービング&バタフライチップによるグラデーションカラー							
148-150	ウィービング&バタフライチップによるグラデーションカラー							
151-153	フォトコンウィッグカラーリング							
154-156	フォトコンウィッグカラーリング							
157-159	サイドシャンプー							
160-162	サイドシャンプー							
163-165	サイドシャンプー							
166-168	実技試験							
169-171	1・2年交流授業として、1年生にシャンプーとヘッドスパを実施							
172-174	学園祭学生サロン運営に向けた練習							
175-177	学園祭学生サロン運営に向けた練習							
178-180	学園祭学生サロン運営に向けた練習							
成績評価 方法	・出席率		定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	メイクアップ					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	45時間	後期	45時間	授業時間数合計	90時間	
	2年	前期	-	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	羽鳥 美保、佐藤 祐子		百貨店にてビューティアドバイザー17年、メイク講師として10年以上教育に携わる。美容部員の育成・メイクやエステの資格取得へ向けた指導を行う。渋谷ファッションCOLLECTION・ミセスジャパン・ブラダール・スチール撮影などメイクアップアーティストとして活動しているため、専門的な指導ができる。					
	実務経験	有						
授業概要	1年前期 道具の使い方、衛生的取り扱い方、基礎技術の習得、人に触れる事に慣れ距離感を学び、接客マナーや礼儀作法を身につける、メイクアップ基礎理論を十分に理解する、クレンジング、スキンケア、ベースメイクアップ 1年後期 フルメイク、メイクアップ基礎技術をサロンで提供できるよう習得する					授業形式	実習	
到達目標	①化粧品の種類・使用道具の扱い方を学び、皮膚・顔の骨格などを理解する ②メイクアップの基礎知識・技術の習得 ③日本メイクアップ技術検定3級・2級合格を目指す ④ケサランパサランメイク検定の合格を目指す							
教科書 教材	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト（一般社団法人JMA）、オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1 - 6	教材配布、テーブルセッティング、衛生管理、フェイスバランスチェック、オリエンテーション、メイクデモ							
7 - 12	顔分析、セルフ修正メイク、接客マナーと心得、JMA3級概要、顔のパーツ名所、皮膚の構造、ポイントメイククレンジング							
13 - 18	クレンジングの種類と特徴、クレンジングローション、化粧水、顔の筋肉と骨格、乳液を使ったクイックトリートメント手技							
19 - 24	ベースメイクの種類と特徴、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、パウダー、チーク、ハイライト、ローライト							
25 - 30	前回までの復習、モデルの骨格に合わせたチーク・ハイライト・ローライト、メイクブラシテクニック、JMA3級模擬テスト							
31 - 33	前期試験 / JMA 日本メイクアップ技術検定3級受験							
34 - 36	試験の振り返り、スキンケア～ファンデーションブラシでベース作り、赤リップメイク、傷メイク							
37 - 39	アニマルメイク、リキッドアイライン、アイメイク、ビューラー、マスカラ、ポイントクレンジングJMA2級テクニック							
40 - 42	スモーキーアイ・スパイダーメイク、ケサランパサラン検定クールメイクデッサン、アイブロウメイク、ポイントメイクの復習							
43 - 45	ハロウィンメイク							
46 - 51	JMA2級概要、スキンケア復習～ベースメイク艶肌、ファンデーションブラシテクニック、練りチーク、パウダーブラシテクニック							
52 - 57	JMA2級 アイメイク（アイシャドウ縦グラデーション、リキッドアイライン切れ長、ビューラー、マスカラ）、アイブロウ							
58 - 63	ケサランパサラン検定 イメージメイクの色選びと質感演出、ポイントメイク・キュートカラー							
64 - 69	JMA2級 スキンケア～フルメイク、ケサランパサラン検定対策、ポイントメイク・クールカラー							
70 - 75	JMA2級 検定対策（クレンジング～フルメイク実習）							
76 - 78	JMA日本メイクアップ技術検定2級 模擬（クレンジング～フルメイク）							
79 - 81	後期試験 / JMA 日本メイクアップ技術検定2級受験							
82 - 87	ケサランパサラン メイク検定 対策授業 イメージメイク キュート・クール・ナチュラル							
88 - 90	ケサランパサラン メイク検定							
成績評価 方法	・出席率		定期試験			筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○		実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない		
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ヘアアレンジ					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	30時間	後期	-	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間	
	2年	前期	30時間	後期	-			
担当講師	佐藤 祐子、関谷 葵、金川 盛一、水野 雅城、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	お客様の要望に応じてきた美容師経験から、サロンでのニーズに即したヘアスタイルの講習を行い、パーティヘアからフォーマルヘア、新日本髪までを習得させる。					
授業概要	1年前期 各種編み込みとヘアアイロンを使用したカジュアルなアップスタイルを学ぶ					授業形式	実技	
	2年前期 フォトコン用のデザインを創作できるようになる							
到達目標	三つ編みや編み込み等の簡単なヘアアレンジに始まり、カジュアルアップスタイルから夜会巻きまで幅広いニーズに対応できるだけの技術を身に付け、新日本髪を結えるようになることを目標とする。							
教科書 教材	①美容技術理論1（日本理容美容教育センター）							
	②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 授業内容							
1・2	テーブルセッティング、ダックカールクリップの使い方、ブラッシング、三つ編み							
3・4	ブロッキング、表編み込み							
5・6	ブロッキング、裏編み込み							
7・8	ブロッキング、片編み込み（表及び裏）							
9・10	ブロッキング、編み込み（表・裏）、片編み込み（表・裏）							
11・12	一束結び（ポニーテール）、ゴムの留め方、カールアイロンの使用方法							
13・14	カールアイロンでのスタイル作り、ピニング							
15・16	カジュアルアップスタイル、すき毛の用途と作り方							
17・18	カジュアルアップスタイル							
19・20	夜会巻き							
21・22	夜会巻き							
23・24	夜会巻き							
25・26	定期試験							
27・28	作品作り							
29・30	作品作り							
成績評価 方法	・出席率					定期試験	筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ヘアアレンジ					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	30時間	後期	-	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間	
	2年	前期	30時間	後期	-			
担当講師	佐藤 祐子、関谷 葵、金川 盛一、水野 雅城、杉本 裕子、三輪 洋子							
	実務経験	有	お客様の要望に応じてきた美容師経験から、サロンでのニーズに即したヘアスタイルの講習を行い、パーティヘアからフォーマルヘア、新日本髪までを習得させる。					
授業概要	1年前期 各種編み込みとヘアアイロンを使用したカジュアルなアップスタイルを学ぶ					授業形式	実技	
	2年前期 フォトコン用のデザインを創作できるようになる							
到達目標	三つ編みや編み込み等の簡単なヘアアレンジに始まり、カジュアルアップスタイルから夜会巻きまで幅広いニーズに対応できるだけの技術を身に付け、新日本髪を結えるようになることを目標とする。							
教科書 教材	①美容技術理論1（日本理容美容教育センター）							
	②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容							
31・32	デルタコーン（三角錐）の作成、羽根の作成							
33・34	デルタコーン（三角錐）の作成、羽根の作成							
35・36	グローブ（球）の作成、羽根の作成							
37・38	デルタコーン・グローブを取り入れて、アップスタイル作品の作成							
39・40	デザイン画の作成							
41・42	フォトコンテストについて、作品作り							
43・44	新日本髪							
45・46	新日本髪							
47・48	新日本髪							
49・50	新日本髪							
51・52	フォトコンテスト用作品作り							
53・54	フォトコンテスト用作品作り							
55・56	フォトコンテスト作品装飾、撮影							
57・58	相モデルでのヘアアレンジ							
59・60	相モデルでのヘアアレンジ							
成績評価 方法	・出席率					定期試験	筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	90点以上	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	80点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	70点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ビジネスマナー					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計	60時間	
	2年	前期	15時間	後期	15時間	※授業50分を1時間とす		
担当講師	松本 繁美（1年）、関谷 葵（2年）							
	実務経験	有	ビジネスマナー講師や美容師としてのキャリアを生かし、一般的なビジネスマナーと美容業界に適したビジネスマナーの両方を指導することができる					
授業概要	1年 前期 後期 一般的なビジネスマナーを学ぶ 2年 前期 後期 美容業界におけるビジネスマナーを学ぶ					授業形式	講義・演習	
到達目標	一般的なビジネスマナーを身に付け、サロンで接客ができるレベルの内容を身につける。また、面接での自己アピールや履歴書の作成など、就職活動に必要なスキルを身につける。							
教科書 教材	オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1・2	セルフプレゼンテーション 挨拶とお辞儀							
3・4	敬語、尊敬語、謙譲語、丁寧語							
5・6	立ち姿、すわり姿、入退室のしかた							
7・8	覚えておきたい5大用語、応対用語、ワークシート							
9・10	メールのマナー							
11・12	電話対応の基本、就活対応（電話）							
13・14	指名された人が電話に出られない場合							
15・16	席次のマナー							
17・18	来客時のお茶の出し方、飲み方							
19・20	名刺交換のマナー							
21・22	試験対策 まとめと振り返り							
23・24	履歴書の書き方、エゴグラム（自己を知る）							
25・26	電話対応（面接時）、PDCAサイクル							
27・28	コーヒー、紅茶の出し方（サロン対応）、訪問のマナー							
29・30	自己紹介（面接対応動画）、動画のフィードバック							
成績評価 方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト							実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	100点	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	90点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	80点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	ビジネスマナー					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間	
	2年	前期	15時間	後期	15時間			
担当講師	松本 繁美（1年）、関谷 葵（2年）							
	実務経験	有	ビジネスマナー講師や美容師としてのキャリアを生かし、一般的なビジネスマナーと美容業界に適したビジネスマナーの両方を指導することができる					
授業概要	1年 前期 後期 一般的なビジネスマナーを学ぶ 2年 前期 後期 美容業界におけるビジネスマナーを学ぶ					授業形式	講義・演習	
到達目標	JBCA ビューティ・コーディネーター検定3級（任意）の取得を目指せるレベルの内容を身につける							
教科書 教材	JBCA ビューティ・コーディネーター検定3級 テキスト							
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容							
31・32	ビューティ・コーディネーターの仕事、トータルビューティの解説							
33・34	おしゃれの基本（メイクアップ演習）、ファッションを理解し美意識をコーディネートする							
35・36	ファッションの理解と美意識のコーディネート（ファッション年表作成演習）							
37・38	美容メニューの基本知識、サロンにある器具・用具の基本知識							
39・40	美容基礎理論（BC3級過去問題解説）、期末試験							
41・42	期末試験解説、夏休み課題発表							
43・44	美容サロンの仕事（知識と演習）お出迎え、受付、誘導、カルテ管理、言葉遣い							
45・46	美容サロンの仕事（知識と演習）ホームケア商品の説明とセールスの基本、会計業務、次回予約、お見送り							
47・48	BC3級過去問題 解答解説、小テスト解答解説							
49・50	美容業界におけるビジネスキャリア（1年・3年・5年後の自分）							
51・52	ホスピタリティの理解とスタッフ間のコミュニケーション、印象の良い聞き方と話し方							
53・54	電話対応の基本							
55・56	サロンメディアの活用							
57・58	BC3級過去問題 解答解説、期末試験							
59・60	期末試験解答解説							
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		筆記試験		
	・定期試験や小テスト					実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない		
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	100点	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	90点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	80点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

課目名	デッサン					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	-	後期	30時間	授業時間数合計	60時間
	2年	前期	30時間	後期	-	※授業50分を1時間とす	
担当講師	栄 正一						
	実務経験	有	理容師として8年間の実務経験を活かし、顔や骨格及びヘアデザインという、美容業の現場で必要となる専門的なデッサンを指導することができる				
授業概要	1年後期 デッサンの基礎を学び、立体や顔のデッサンを学ぶ 2年前期 1年時に学んだデッサンの基礎を活かしヘアデザイン画を描く					授業形式	講義・演習
到達目標	テーマに沿ったデザイン画やヘアデザイン画の作成ができるようになる						
教科書 教材	オリジナルプリント、鉛筆、色鉛筆、スケッチブック、練り消しゴム						
授業計画 コマ数	1年 後期 授業内容						
1・2	美容師とデッサン、鉛筆の削り方、透視図法						
3・4	色の原色、鉛筆デッサン、ハッチング						
5・6	色の三原色、色彩体系、混色演習						
7・8	混色演習、HappyHalloween かぼちゃ						
9・10	デッサン基礎、透視図法とハッチング（立体）						
11・12	デッサン基礎、球、光と影、同心円を見る						
13・14	身の回りのものを描く（硬いもの）						
15・16	身の回りのものを描く（柔らかいもの）						
17・18	色鉛筆で描く（身の回りのもの）						
19・20	色鉛筆で描く（身の回りのもの）						
21・22	顔、パーツのバランス配置						
23・24	全身プロポーション、相モデル						
25・26	骨格について、顔の面取り						
27・28	顔の面取り、陰影のつけ方						
29・30	顔の陰影						
成績評価 方法	・出席率				定期試験		筆記試験
	・作品評価						実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					○	実施しない
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	100点	平常点	特に優れている	
	A評価	出席率	95%以上	90点以上	平常点	優れている以上	
	B評価	出席率	90%以上	80点以上	平常点	普通以上	
	C評価	出席率	67%以上	60点以上	平常点	やや劣る以上	
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

課目名	デッサン					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	-	後期	30時間	授業時間数合計	60時間
	2年	前期	30時間	後期	-	※授業50分を1時間とす	
担当講師	栄 正一						
	実務経験	有	理容師として8年間の実務経験を活かし、顔や骨格及びヘアデザインという、美容業の現場で必要となる専門的なデッサンを指導することができる				
授業概要	1年後期 デッサンの基礎を学び、立体や顔のデッサンを学ぶ 2年前期 1年時に学んだデッサンの基礎を活かしヘアデザイン画を描く					授業形式	講義・演習
到達目標	テーマに沿ったデザイン画やヘアデザイン画の作成ができるようになる						
教科書 教材	オリジナルプリント、鉛筆、色鉛筆、スケッチブック、練り消しゴム						
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容						
3 1・3 2	大顔面（顔の面取り）、相モデルスケッチ						
3 3・3 4	骨格（6種類）、椅子に座った骨格、ヌードクロッキー作品、3分クロッキー						
3 5：3 6	パステルアート4つ、中間混色、テーマと色の構成						
3 7・3 8	テーマ「四季」構成案作成、ラフスケッチ						
3 9・4 0	テーマ「四季」アイディアスケッチ						
4 1・4 2	ヘアデザイン画「四季」						
4 3・4 4	ヘアデザイン画「四季」						
4 5・4 6	ヘアデザイン画「四季」						
4 7・4 8	ヘアデザイン画「四季」						
4 9・5 0	相モデルスケッチ						
5 1・5 2	目画像						
5 3・5 4	ヘアデザイン画						
5 5・5 6	ヘアデザイン画						
5 7・5 8	ヘアデザイン画						
5 9・6 0	ヘアデザイン画						
成績評価 方法	・出席率		定期試験			筆記試験	
	・作品評価					実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			○		実施しない	
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	100点	平常点	特に優れている	
	A評価	出席率	95%以上	90点以上	平常点	優れている以上	
	B評価	出席率	90%以上	80点以上	平常点	普通以上	
	C評価	出席率	67%以上	60点以上	平常点	やや劣る以上	
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

課目名	情報技術					必修・選択必修の別	選択必修	
実施期	1年	前期	-	後期	-	授業時間数合計	60時間	
	2年	前期	30時間	後期	30時間	※授業50分を1時間とす		
担当講師	田中 みゆき							
	実務経験	-						
授業概要	社会においてパソコンが使えるだけでなく、パソコンを活用できる能力が必要とされています。Word、Excelの基本と応用的な機能を学習し、プレゼンテーション資料の作成とインターネット利用のルールとマナーについて学びます。					授業形式	講義・演習	
到達目標	インターネット利用のルールとマナーを理解する、Powerpointの基本操作を理解する							
教科書 教材	Office2016をもとにしたオリジナルプリント							
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容							
1-3	パソコンの起動と終了、Windowsの基本操作、アプリケーション起動、キーボード練習							
4-6	Word（起動と画面構成、文字入力、文章入力と編集、ページ設定と印刷）							
7-9	Word（ビジネス文章の入力、編集、フォントグループの設定、段落グループの設定）							
10-12	Word（ページ設定と印刷、ワードアート、クリップアート、図の挿入、図形操作）							
13-15	Word（表の挿入と編集、ページ罫線、段落罫線、チラシの作成）							
16-18	Word（背景の設置江、写真の挿入） PowerPoint（基本操作、ヘアショーの招待状作成）							
19-21	タイピングテスト、試験対策、期末試験							
22-24	PowerPoint（学園祭のチラシ作成） Excel（基本操作、簡単な計算、オートフィル、スケジュール表）							
25-27	Excel（作表、オートフィルの活用、カレンダー作成）							
28-30	Excel（予約チケット作成） PowerPoint（画面切り替え、アニメーション、図形の挿入、ノートの活用）							
31-33	PowerPoint（課題作成） Excel（データベース機能）							
34-36	Word（差し込み印刷機能で名刺作成） インターネットの活用（ダウンロード） Word（はがき作成）							
37-39	Word（年間カレンダー作成）							
40-42	インターネットセキュリティについて							
43-45	作品制作							
46-48	作品制作							
49-51	作品制作							
52-54	作品制作							
55-57	作品制作							
58-60	作品制作							
成績評価 方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト						実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価 基準	S評価	出席率	100%	定期試験	特に優れている	100点	平常点	特に優れている
	A評価	出席率	95%以上	定期試験	優れている以上	90点以上	平常点	優れている以上
	B評価	出席率	90%以上	定期試験	普通以上	80点以上	平常点	普通以上
	C評価	出席率	67%以上	定期試験	やや劣る以上	60点以上	平常点	やや劣る以上
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						